

享保の改革と社会の変化

今日の問い

享保の改革のころ、幕府の政治や人々のくらしはどのように変わったろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 吉宗はどのように幕府を立て直したか。

上げ米・公事方御定書・目安箱

8代将軍の¹ 徳川吉宗 は² 享保の改革 を始め、大名に、参勤交代で江戸に
いる期間を縮めるかわりに米を納めさせる³ 上げ米 を命じた。新田開発も進めて
年貢をふやそうとした。裁判の基準となる⁴ 公事方御定書 を定め、民衆の意見を
聞くために⁵ 目安箱 を置いた。

2 人々のくらしはどう変わったか。

問屋制家内工業・一揆

問屋が農家に原料や道具を貸して製品をつくらせる⁶ 問屋制家内工業 が広が
り、のちには作業場に人を集めて分業で生産する⁷ 工場制手工業 も現れた。農
村では貧富の差が広がった。百姓は年貢を軽くすることなどを求めて⁸ 百姓一揆
を起こし、都市では貧しい人々が米を買い占めた商人などをおそう⁹ 打ちこわし
が起こった。

年表 — この単元のできごと

1716

吉宗が将軍となり、享保の改革が始まる

1721

目安箱を置く

1742

公事方御定書が定められる

まとめ

今日の問いに答えよう。「享保の改革」「百姓一揆」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例)徳川吉宗は享保の改革を行い、上げ米や目安箱などで幕府の財政を一時立て直した。一方、農村では貧富の差が広がり、年貢を軽くすることなどを求める百姓一揆がふえた。

